

U of I の授業も 2 月に入り、幾つかの科目で Exam が行われた。雪は溶けたが、まだまだ寒い気候が続いているので体調管理には十分気をつけたい。今回の報告は主として、現在履修している科目と講義の経過、Retreat やバスケットの試合観戦など、activity について報告する。

< 春学期の履修科目 >

- ESL 114 : Introduction to Academic Writing
- ME 330 : Engineering Materials
- ME 390 : Seminar
- PHYS 140 : How Things Work
- ASTR 100 : Perspectives in Astronomy

ESL 114

この科目は academic な writing スキルを学ぶクラスである。毎回の授業で習うことは新鮮で、時にはゲームを交えた学習ができるので非常に楽しいクラスである。先日、第二回目の essay 提出があった。今回のトピックは How to Fight Binge Drinking、アメリカの大学では非常に大きな問題の一つとして取り上げられている。こういった essay は、クラス内で学生同士が peer review を行うので他の学生の意見や writing の方法を見ることができ、非常に勉強になる。また、第三回目の essay がスタートした。今回は各自がトピックを決められるのだが、essay 内で二つの事柄について比較し、似ている部分、違う部分を書かなければならない。私は日本とアメリカの学生について比較することにした。

ME 330

この科目は、曲げ、破壊、疲労、クリーブ現象、腐食、磨耗などの現象がどのようにして生じるのか、また、このような現象をどのようにして防ぐのか機械構造をもとに学習するクラスである。先日の授業では、鋼を焼き入れた際に生じる組織の変化と変形について図やグラフを元に学習した。このクラスは Mechanical Engineering を専攻とする学生が受講するクラスであるので、Lab の中身など、非常に濃いものとなっている。しかし、このクラスが始まった当初は、満席だったクラスも現在では半分以下になった。内容的には他の授業に比べレベルが高いので、ドロップする学生が多いのだろうと思う。ME の授業を受けてきた友人は、授業当初からこのクラスはドロップする学生が多いから、春休み前は半分になっていると断言していた。ドロップする学生が多いなか、私は Exchange Student という state なので受講できていることを非常に感謝している。

ME 390

この科目は、Mechanical Engineering 専攻の学生を対象とした Seminar のクラスである。先日の授業では、企業の方が訪問され講義を行った。内容は基本的に自社で設計・製作している製品の説明や他の企業との違い、企業体系についての説明であった。このような企業説明会は、このクラスでは頻繁に行われ、受講している学生は講義を受けながら、企業研究をすることができる。

PHYS 140

この科目は、基本的な物理現象を学ぶクラスである。先日、第一回目の Exam があった。この科目は合計で三回の Exam が用意されており、spring break 前に第二回目の Exam が行われる予定だ。Exam 前には、TA がテスト対策として授業の review を授業時間外に行ってくれた。また、クラス専用の Web サイトから過去の Exam を閲覧することができるので、テスト対策に非常に効果的だった。Exam は 1 時間 45 問マークシート形式であった。問題文・回答文を読むスピードがアメリカの学生と比べたら遅いので、1 時間で 45 問の回答に少し不安を感じていたが、Exam 前のテスト対策の成果もあり、時間内に終わることができたので嬉しかった。

ASTR 100

この科目は、太陽・惑星・月・星等を題材とした惑星の動きや星の観測方法、光の反射や屈折などの原理・現象、望遠鏡の仕組みや種類など、物理現象を元に解説される天文学の基本的な知識を学ぶ授業である。先日のクラスでは、U of I の近くにある Parkland 校に行っておプラネタリウム内での講義が行われた。講義を行った教授は非常にユーモアで講義中は生徒の笑いで溢れていた。また、授業の一環でプラネタリウムに行くことも凄いが、学校にプラネタリウムがあること自体凄いことだと思う。授業以外にも一般公開しているようで、普段は一般のお客さんも来ているようだ。

Retreat

先日 CFC がオーガナイズする Retreat に J-HOP のメンバーと参加した。Retreat とは日々の忙しい生活の中で、なかなか神様との関係を考えることができないクリスチャンが二日間を通してイエス様との関係を思い出す時間のことである。私はクリスチャンではないが、他文化を学ぶこと、クリスチャンと意見交換を行うことを目的に CFC の教会に毎週金曜日と日曜日 J-HOP のメンバーと通っている。この Retreat とは今まで参加した Bible study や教会とは少し違った独特のシリアスな雰囲気があった。Message を聞いた後は、small group に別れ意見のシェアを行った。クリスチャンと意見を交換することで新たな視点での物事の考え方や捉え方を学ぶことができる。私は small group でクリスチャンに対する自分のイメージや Bible study を通して分かったことについてシェアした。皆、興味深く聞いてくれ、皆それぞれ話をシェアしてくれた。私は、夜には寮に戻ったが、CFC のメンバーのほとんどは sleeping bag を持ってきており、教会で一夜を過ごすようだ。この日は本当に中身の濃い興味深い話を聞くことができた。非常に有意義な時間であった。



図 1. Retreat

Illinois VS Minnesota

2月26日 Illinois VS Minnesota のバスケットの試合を観戦した。UIUC が所有する巨大スタジアム ASSEMBLY HALL での観戦は初めてであったので非常に興奮した。16450人を集客できる巨大スタジアム ASSEMBLY HALL には、その日 Illinois カラーであるオレンジ色と紺色を着た学生サポーターや Illinois に住むサポーターで埋め尽くされた。バスケットランク3位の Minnesota と6位の Illinois の試合は、前半から目まぐるしい攻防を繰り広げ、Illinois リードでハーフタイムに入った。ハーフタイム中もチアガールや応援団の演奏が非常に素晴らしく、胸高鳴るものがあった。後半 Minnesota の攻撃が一層激しくなり、Illinois は防戦一方となっていたが、確実なところで点を取り、見事バスケットランク3位の Minnesota に 52 - 41 で勝利した。



図2. Illinois VS Minnesota ASSEMBLY HALL

Praise night

27日には Praise night が開催され J-HOP のメンバーと鑑賞した。Praise night とは CFC のメンバーがダンスや楽器などを使ってパフォーマンスをする一夜限りのクリスチャン・ショーである。全てのパフォーマンスが非常にユーモアでクオリティーの高さに驚いた。また、パフォーマンスの合間に上映される、アメリカの人気 TV 番組アメリカンアイドル風に製作されたビデオクリップは傑作であった。UIUC にはこのように多くの楽しいイベントがあり、それはどれも学生達が力を合わせて製作している。今まで色々なイベントに参加してきたが、どれも素晴らしいものであった。



図3. Praise night Foellinger Auditorium

その他

留学してから早いもので9ヶ月が経過した。渡米する前は期待と不安が入り混っていたが、こちらに来て色々な人たちと出会い、本当にいい経験ができていると実感している。こちらにいる人たちは本当にフレンドリーで日々の生活に飽きたことが無い。また、人との出会いの大事さや温かみを最近は特に感じている。Exchange student として来ている以上、時が来れば帰らなければならない、そんな短く貴重な時間の中での出会いは本当に大切なものであると思う。私の友人は皆、私を家族のように迎え入れてくれ、困ったときは支えとなり、同じように笑い、文化を教えてくれ、楽しい時間を共有させてくれている。残りの留学生活も充実させられるよう努力し、この留学が本当に良かったと言えるよう日々の生活を楽しいものになりたいと思う。

以上